

スギウラ株式会社 027-361-5808	
2課商品案内⑪ 第 11 回の今回は「ユポ・サクシオンタック」です。「ユポ」は本来 1 課のお客様向けの商品ですが、今回一風変わった使い方とともに紹介いたします。 まず、皆さんは「ユポ」という紙をご存知でしょうか？ 以前、この紙上でも特集を組んで紹介させていただきましたが、「ユポ」は通常の紙と違い木材繊維で作られていません。「ユポ」は、石油を原料とした合成樹脂から作られている合成紙です。その特徴は、完全耐水性と破れ難さで、「選挙用のポスター」や「選挙の投票用紙」にも使用されています。 今回紹介する「ユポ・サクシオンタック」の最大の特徴は、糊を使わずにガラス等の平滑面にくっつくところです。ですから、本来の使用例としましては、表面に印刷を施し、商店の店頭・ショーケース用 POP、郵便ポストの簡易シール、出版物(教材シール)、大判ポスター、自販機のステッカーなどがありますが、今回は裏面(吸着面)を利用した使用方法を提案したいと思います。それは、写真の台紙としての使用です。 旅行やお祭りなどの季節の行事で撮影した大切な写真を壁に貼ろうと思ったとき、普通は写真に直接テープや画鋲で貼っていると思いますが、後で剥がしたときに、大事な写真がテープの糊で汚れたり、画鋲の針で穴だらけになっていることが多いと思います。そんな時に、今回紹介する「ユポ・サクシオンタック」を壁に貼って台紙として、使っていただくと大切な写真をきれいに貼ったり剥がしたりすることができます。 (お)	
スギウラ株式会社 〒370-0006 高崎市問屋町 2-2-8 電話番号 代 表 027-361-5808 営業1課 027-361-5734 営業2課 027-361-5780 Fax 027-361-1272 当社 Web サイト www.kamisugiura.co.jp	

ニュースレターQ	
スギウラ株式会社 027-361-5808	
2013 年 8 月 1 日 発行 第 73号	
特 集 ・ スギウラ取扱商品展示会 ・ 秋のキャンペーンは三菱！ ・ 金菱 ・ ニューV マット ・ 熱中症と水分補給 ・ 2 課商品案内⑪	スギウラ取扱商品展示会 8 月になりました。おそらく来月、「厳しい残暑が続いております。」と書くことは、ほぼ確実と思えるほどの暑さですね。ですが、蟬しぐれの中で暑さに身をゆだねるのも、時にはいいものです。「時には」です。毎日とは言っていません。早く秋が来ないものでしょうか。 体も、胃も、肝臓も、そろそろ夏の疲れが出てくる頃です。特にお酒の飲み過ぎに気を付けながら、暑さ本番の今月も頑張って乗り切っていきましょう。 さて、去る 7 月 12 日 13 日、弊社にとって初めての試みだった展示会「スギウラ取扱商品展示会」を行いました。ご来場いただいたお客様、ラッピング教室を開いていただいた紙の店さくらい様、ブース出展や商品の出品、オムツ実演をしていただ いたメーカー様には心から御礼申し上げます。 とにかく心配していたのは内容でした。展示物のあれやこれやをシュミレーションしてみても実際の会場で展示した場合はどうなるのかとか、全体的な雰囲気はちゃんと展示会らしくなるのかなど、不安の種は尽きませんでした。ですが、いざ設営してみれば、イベント業者さんやメーカーさんのご協力のおかげで、内容にはかなりご好評をいただきました。 ただ、やってみたことで課題がたくさん出てきたことも事実です。それらを改善して、次回行うときにはより良い展示会にしたいと考えています。その時は、もう少し自信を持って、ご来場へのお誘いができると思いますので、足を運んで頂ければ幸いです。 (K) 秋のキャンペーンは三菱！ 春の特殊紙・封筒キャンペーンに続きまして、秋のキャンペーンの時期となりました。今年は三菱製紙の主要品目が節目の年を迎えるということで、それらを対象とさせていただきます。 その主要品目とは、当ニュースレターの 70 号でもご紹介した販売 30 周年の「ニューV マット」、製造から 111 周年の上質紙「金菱」、アメリカの「NCR 社」とのノーカーボン紙技術提携に係る政府認可を受けてから 50 周年のノーカーボン紙の「NCR スーパー」の 3 銘柄です。弊社にとっても代表的な銘柄です。 この 3 銘柄を対象に、今までお使いいただけなかったお客様や、前年度を上回る数量をご購入いただい (K) 

「金菱」

秋のキャンペーン対象商品ということで、金菱について少しご紹介させていただきます。

三菱製紙の上質紙「金菱」。読みは「きんびし」です。私は入社したての頃「かねびし」と読みました。最初にそう読んでしまうと、しばらく直すことができず、当分の間「かねびし」「かねびし」と言っていたことを思い出します。今はもう大丈夫です。

前述のコーナーで、金菱は製造から 111 周年とご紹介しました。なんと一世紀を超える歴史を持つ紙です。三菱製紙の洋紙製造は、神戸市の合資会社神戸製紙所から始まりました。1898 年のことです。これが三菱製紙の創立となります。その後、神戸市から現在の高砂工場（兵庫県）に移転したのが 1901 年。その翌年の 1902 年に金菱は初めて製造されました。金菱より以前には、ボロ布を主原料とした「青菱」とワラを主原料とした「赤菱」という銘柄ありました。青菱の方が上等な紙とされていましたが、当時の輸入紙に比べると品質で劣っていました。そこで、輸入紙に対抗するために製造されたのが金菱でした。金菱は 1903 年、日本初の万国博覧会といわれる「第 5 回内国勧業博覧会」において名誉銀杯を受賞し、三菱製紙の生産技術の優秀性を示す紙となりました。その後、より上質な輸入紙に対抗するために「白菱」が生産さ

れ、教科書用紙・タバコの吸口紙として「銀菱」が誕生しました。第一次世界大戦前の三菱製紙の銘柄は、上位グレードから順に「白菱」「金菱」「銀菱」「青菱」「赤菱」の 5 銘柄のみでした。その後も「黄菱」や「花菱」などが生産されましたが、現在「菱」の名の付くのは、金菱と非塗工印刷用紙の「特黄菱」、アート紙の「特菱アート」の 3 銘柄となっています。

上質紙に限らず、今は白い紙が選ばれ易いマーケットです。それを考えると金菱は、選ばれにくい紙となってしまうかもしれません。ですが、文字のみを印刷することが多い上質紙では、紙の白さよりも、文字（黒）が刷られた時の見やすさを重視した方が、読み手となるエンドユーザー様に受け入れられやすい場合もあります。経験がある方もいらっしやと思いますが、特に疲れた時、高白の紙に印字された文字よりも、書籍用紙などクリームがかった紙に印字された文字の方が読みやすいということは、本当だと思います。書籍用紙と比べてしまうのは、少し違うかもしれませんが、金菱のナチュラルな白さは、高白の上質とは違った選択肢の一つになり得るものだと考えています。是非、ご検討頂ければ幸いです。

(K)

「ニューV マット」

当ニューズレター 70 号でご紹介させていただきましたが、キャンペーンに際しまして改めてご紹介させていただきます。

三菱製紙の A2 マットコート紙「ニューV マット」は 1982 年に試作が開始され、1983 年に販売されました。今年で 30 周年を迎えます。1970 年代頃から、紙の長期保存に対する社会的な関心が高まり、短命な硫酸化合物を使った酸性紙から、それを使わない中性紙が注目されていきました。なぜなら、中性紙は酸性紙に比べ、3～4 倍の寿命を持っていたためです。ニューV マットは、中性紙の先駆けとなった銘柄でもあります。

「落ち着いた風合いと、優れた印刷適性を持つ代表的な A2 マットコート」と、三菱製紙から紹介されている商品ですが、一番に押したい特徴は「インキセットの早さ」です。確かに、風合いや色合い、再現性の良さなどでもご好評をいただいでいて、ファンの多い銘柄です。しかし、後工程への移りやすさというのは、「乾きが遅い」というマットコート全般の印象の中では、私たちとしても非常にお薦めしやすい点となっています。まずは使っていただき、違いを実感していただければと思います。

(K)

熱中症と水分補給

熱中症予防として欠かせない水分補給に意外な落とし穴があることをご存知でしょうか。自分では大丈夫と想着いても、間違っている場合もありますので水分補給の NG 集を紹介していきます。

・水はおいしくないの、ジュースや甘いものばかり飲んでいる。

糖分の取りすぎによって、血糖値があがり、ペットボトル症候群になることもあります。また、空腹を感じにくくなり、夏の体力低下の原因にもなります。

※ペットボトル症候群とは、10～30 代の若者を中心とした現代病で、清涼飲料水や缶コーヒーなど、砂糖がたくさん入った飲み物を大量に継続的に飲んでいると、太りやすくなったり血糖値が高くなったりして、急性の糖尿病になるおそれがあります。また、昏睡状態に陥ってしまうこともあり、体がダルい、喉が渇く、トイレに行く回数が増える、などの症状があればペットボトル症候群であるかもしれません。

・暑いときは大きなペットボトルで一気飲みをする。
一度に大量の水分を取ると胃の機能が低下して体調を崩しやすくなります。一度に飲む量はコップ 1 杯分(150～200cc)におさえましょう。

・スポーツするとい水分を補給を忘れてしまう。
体重の 2%の水分を失うと、軽い脱水状態になります。戸外で大量の汗をかいたのに、水分を補給しないのは危険です。汗と一緒にナトリウムも失うため、少量の塩分も補給するようにしましょう。

・汗をかくたびに、水分と一緒に塩分も補給している。

炎天下で短時間に大量の汗をかいた場合は別として、屋内で普段通りの生活をしている場合は塩分補給の必要はありません。塩分のとりすぎで高血圧になってしまう可能性がありますので、注意しましょう。



・デスクワークでのどは渇かないので、仕事中にトイレに行きたくないので水分をとらない。
「のどが渇いた」と思った時では、もう遅いという説もあるほどなので、水分補給はこまめにしましょう。

・コーヒーや紅茶、日本茶での水分補給。
緑茶やウーロン茶といった“お茶”ですが、お茶を熱中症対策に使うのは少々危険です。それは、お茶には利尿作用があるため、飲み続ければ大量に尿を出して、脱水してしまう危険性があるからです。

・アルコールでの水分補給。
アルコールには利尿作用があるので、水代わりにビールや缶チューハイなどを飲んでも水分補給にはなりません。水分を体内に取り入れても尿として出て行ってしまうからです。摂取した以上の水分が尿として失われてしまうこともあります。水分補給を行う場合はビールなどではなく、水を体内に取り入れましょう。

・水は冷たいほうが美味しいので常に冷蔵庫で冷やしている。
水は冷たいほうが美味しいからと常に冷蔵庫で冷やしている人も多いと思いますが、冷やしすぎると胃の働きが悪くなったり、腸を刺激して下痢の原因にもなります。水の温度は 5～15 度程度にすると、腸で吸収しやすくなりますので、冷やしすぎには注意しましょう。

飲み物や飲み方を間違えると熱中症以外の症状に陥る場合もありますので、水分補給は、十分注意をして行いましょう。

(お)